

**第40回鳥取県シニアバドミントン選手権大会  
兼 第26回中国地区シニアバドミントン選手権大会鳥取県予選会**

- 1 主催・主管 鳥取県バドミントン協会  
 2 共 催 鳥取市バドミントン協会  
 3 期 日 令和7年6月22日(日) 午前9時15分開会式 午前9時30分競技開始  
 4 会 場 鳥取県民体育館 鳥取市布勢146-1 ☎(0857)31-6911  
 5 種別・種目 (1)30歳以上男子単 (7)60歳以上男子単 (13)30歳以上女子単 (19)60歳以上女子複  
 (2)30歳以上男子複 (8)60歳以上男子複 (14)30歳以上女子複 (20)65歳以上女子複  
 (3)40歳以上男子単 (9)65歳以上男子単 (15)40歳以上女子単 (21)70歳以上女子複  
 (4)40歳以上男子複 (10)65歳以上男子複 (16)40歳以上女子複  
 (5)50歳以上男子単 (11)70歳以上男子単 (17)50歳以上女子単  
 (6)50歳以上男子複 (12)70歳以上男子複 (18)50歳以上女子複  
 6 競技規則 令和7年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。  
 7 競技方法 リーグ戦、又はトーナメント戦とする。  
 8 使用用器具 (1)(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具を使用する。  
 (2)大会使用球は、令和7年度(公財)日本バドミントン協会検定合格水鳥球を大会事務局が一括準備する。参加選手は、このシャトルを大会事務局より購入し、試合の都度互いに持ち寄るものとする。  
 9 参加資格 (1)令和7年度鳥取県バドミントン協会に登録を完了した者。ただし、全日本シニア選手権大会、中国地区シニア選手権大会出場者は、令和7年度(公財)日本バドミントン協会に登録を完了した者で審判員資格取得者とする。  
 (2)年齢は、令和7年4月1日現在の年齢による。  
 10 組 合 せ レフェリー(競技役員長)、デピュティレフェリー(競技審判部長)及び事業本部が行う。  
 11 参 加 料 1人1種目 1,300円 (大会当日納入のこと)  
 12 申込締切日 令和7年5月19日(月)必着のこと。  
 13 申込方法 所定の申込書により提出すること。  
 14 申 込 先 各市町村協会  
 15 表 彰 男女単・複の入賞者(1位～3位)に表彰状を授与する。  
 16 選手選考 (1)種別・種目の(1)～(6)(13)～(18)のベスト8、(7)～(12)(19)～(21)のベスト4には第26回中国地区シニア選手権大会の出場権を与える。ただし、権利者が出場を辞退する場合、大会ランキング(3位のうち1位の敗者を3位、2位の敗者を4位とし、5位以下も同様に上位の敗者を上位とする。)により出場権を与える。  
 中国地区シニア選手権大会は参加料を振込み、写しを申込書に添付の上令和7年6月30日(月)までに申込みすること。  
 (2)本大会出場者でなければ、全日本シニア選手権大会に出場できない。全日本シニア選手権大会は参加料を振込み、写しを申込書に添付の上 令和7年6月30日(月)までに申込みすること。(出場枠に制限がありますので選考する場合があります。)申込先は、プログラムを参照ください。  
 17 大会事務局締切日 各市町村協会は令和7年5月26日(月)までに大会事務局へ送付すること。  
 18 大会事務局 〒680-0862 鳥取市雲山172-10 伊藤 和彦 ☎0857-21-5832  
 19 備 考 (1)この大会に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に使用することはありません。  
 (2)競技中の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、上着背面中央にチーム名(クラブ名)・選手名を単一色で明瞭な文字で表示すること。文字列各行の大きさは、高さ6～10cm 幅30cm以内とする。表示のない選手は失格とする。県協会の規程に準拠したゼッケンを使用してもよい。ゼッケンを使用する場合は4隅を留めること。

(例)

チーム名
選手名

- (3) 病気や事故に備えて、各自健康保険証を持参すること。怪我などの場合はできる範囲での応急処置はするが、その後は各自が責任を持つこと。
- (4) 前年度優勝者は、大会当日責任を持って優勝杯を返還すること。
- (5) 中国大会出場選手で委嘱状の必要な人は、県協会 HP 掲載の委嘱状申請書でレフェリー(競技役員長)または大会事務局に申請すること。

20 審判関係

- (1) 主審 初回戦は本部が指名した選手、2回戦以降は敗者審判で行う。
- (2) サービスジャッジ 原則として配置しません。
- (3) 線審 試合の都度、出場選手が線審1名連れてくること。